

臨床法学教育学会 15 周年記念大会
(第 15 回年次大会 [2022 年度])
プログラム

日時：

メイン日程：2022年6月19日（日） 9：00～17：10

プレ日程： 2022年6月12日（日）10：00～15：00

2022年6月13日（月）・14日（火）18：30～20：00

2022年6月16日（木）・17日（金）18：30～20：00

2022年6月18日（土）10：00～15：00

会場： オンライン（ZOOM）

テーマ：「法科大学院における臨床教育の定着と充実のための諸方策

—— 臨床系科目の共有化・共通化・多様化の現状と課題——」

シンポジウム

「法科大学院における臨床教育の定着と充実のための諸方策

—— 臨床系科目の共有化・共通化・多様化の現状と課題——」

趣旨説明：花本広志（獨協大学）

基調報告：「法科大学院における臨床系科目の現状と課題」

米田憲市（当学会理事長・鹿児島大学）

報告1：「臨床系科目の共有化の実績と展望」

「PSIM コンソーシアムによる教材共有化の試み」藤本亮（名古屋大学）

「東京弁護士会（法曹養成センター）による慶應義塾大学及び中央大学へのリーガル
クリニックの提供」大西雄太（弁護士）、飯田康仁（弁護士）

報告2：「臨床系科目の共通化の必要性和方向性」山口卓男（弁護士）

報告3：「臨床系科目の多様な展開」

「早稲田大学における行政事件クリニック」水野泰孝（早稲田大学・弁護士）

「琉球大学における「スクールロイヤー」クリニック」武田昌則（琉球大学）、伊藤三
四郎（琉球大学法科大学院修了）

パネルディスカッション

コーディネーター：米田憲市

パネリスト：報告者

質疑応答

※ 大会事務局連絡先： jclea.jimu@gmail.com

※ プレ日程

* 部会

6月12日(日)

* 10:00～11:30

(1)部会1(若手部会) 世話人:花本広志(獨協大学)

テーマ:「他職種連携と弁護士業務」

報告者: 小林美和(桜美林大学・弁護士)

* 13:30～15:00

(2)部会2(リーガル・クリニック) 世話人:宇加治恭子(弁護士)

テーマ:「福岡大学法科大学院におけるリーガルクリニックの取り組み」

報告者: 木村道也(福岡大学・弁護士)、稲場悠介(福岡大学・弁護士)、高松連(75期司法修習生)

6月13日(月)

* 18:30～20:00

(3)部会3(企業法務) 世話人:杉山忠昭(元花王・経営法友会評議員(元代表幹事))・米田憲市(鹿児島大学)

テーマ:「『企業法務』教育への新時代のアプローチ」

「『企業法務実務講座』の企画全体の趣旨・目的、事前検討事項と成果」

伊藤淳(LINE株式会社)

「講師としての体験(3社):授業コンテンツ作りの工夫や交流会の印象など」

橋本知也(丸紅株式会社)

小川徹(トヨタ自動車株式会社)

松村真弓(グリー株式会社)

「授業としての利用報告」米田 憲市

パネルディスカッション

6月14日(火)

* 18:30～20:00

(4)部会4 世話人:四宮啓(國學院大学・弁護士)

テーマ:「法学部における臨床的教育 —— 全国アンケートから見る現状と課題 ——」

報告者:

6月16日(木)

* 18:30~20:00

(5)部会5(法曹倫理) 世話人:森際康友(名古屋大学名誉教授)・馬場陽(東海学園大学・弁護士)

テーマ:「法学部は「法の支配」の定着にいかに関わるか ——臨床教育に着目して——」

報告者: 山口卓男(弁護士)、浜辺陽一郎(青山学院大学・弁護士)、上松健太郎(名古屋大学・弁護士)、吉永公平(春日井市・弁護士)

6月17日(金)

* 18:30~20:00

(6)部会6(自由報告) 世話人:花本広志(獨協大学)

報告者: 應本昌樹(弁護士)「ドイツの大学段階における臨床法学教育の展開について:義務的実習(Pflichtpraktikum)を中心に」

川嶋四郎(同志社大学)「法科大学院における臨床法学教育と研究者養成」

6月18日(土)

* 13:30~15:00

(7)部会7(法科大学院生部会) 世話人: 今井秀智(弁護士)

テーマ:「臨床法学教育としての法教育の現状」

報告者: 糸井沙希(早稲田大学法科大学院生)、リュウコウテイ(中央大学法科大学院生)

* 15:15~17:00

(8)部会8 世話人: 亀井尚也(関西学院大学・弁護士)

テーマ:「法科大学院の共通到達目標の再構成に向けて」

報告者: 太田勝造(明治大学)「法曹の質と共通到達目標について」

藤倉輝道(日本医科大学)「医学教育モデル・コア・カリキュラムについて」

※ なお、6月18日(土) 10:00~12:00 PSIM コンソーシアム主催・臨床法学教育学会後援で下記のセミナーが開催されます。

詳細は (<https://psimconsortium.law.nagoya-u.ac.jp/>) をご覧ください。

<3+2>時代の法実務教育教材の作成と活用

1. 「企画趣旨」 藤本亮(名古屋大学)
2. 「『ローヤリングの考え方』と法実務教育(仮)」 榎本修(弁護士)
3. 「学部での法実務教育をふまえた訴訟法教材(仮)」 宮木康博(名古屋大学)

※ メイン日程

6月19日(日)

* 9:00～12:00

I 臨床法学教育学会創立15周年国際シンポジウム

テーマ:「日本の臨床法学教育への国際的評価」

企画趣旨: 宮川成雄(早稲田大学)

「臨床法学教育の成功の鍵——アメリカのレンズから見た日本との比較」マシュー・ウィルソン(テンプル大学ジャパンキャンパス学長)

「法学教育における制度改革:中国から見る日本の臨床教育の意義」丁相順(ディン・シャンシュン)(中国人民大学法学院教授)

「韓国の臨床法学教育の諸論点と日本との比較」黄南爽(ファン・ナムソク)(慶熙(キョンヒ)大學校法學専門大學院教授)

「法曹コース設置後の実務教育のあり方 — 法科大学院との接続を課題として」酒井圭(一橋大学・弁護士)

パネル・ディスカッション

総括コメント: 宮澤節生(神戸大学名誉教授)

II 会員総会 13:00～13:15

III 全体シンポジウム 13:30～17:10

テーマ:「法科大学院における臨床教育の定着と充実のための諸方策

—— 臨床系科目の共有化・共通化・多様化の現状と課題——」

趣旨説明: 花本広志(獨協大学)

基調報告:「法科大学院における臨床系科目の現状と課題」米田憲市(当学会理事長・鹿児島大学)

報告1:「臨床系科目の共有化の実績と展望」

「PSIM コンソーシアムによる教材共有化の試み」藤本亮(名古屋大学)

「東京弁護士会(法曹養成センター)による慶應義塾大学及び中央大学へのリーガルクリニックの提供」大西雄太(弁護士)、飯田康仁(弁護士)

報告2:「臨床系科目の共通化の必要性和方向性」山口卓男(弁護士)

報告3:「臨床系科目の多様な展開」

「早稲田大学における行政事件クリニック」水野泰孝(早稲田大学・弁護士)

「琉球大学における「スクールロイヤー」クリニック」武田昌則(琉球大学)、伊藤三四郎(琉球大学法科大学院修了生)

パネルディスカッション: コーディネーター: 米田憲市、パネリスト: 報告者

質疑応答

IV オンライン懇親会 17:45～19:00 飲み物・食事各自以上